

## 【知事定例記者会見】 8月26日

### ● SAGA020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会の総合優勝を発表します

知事／報道機関の協力も得て、高校生のためにすばらしい大会ができた。さまざまなドラマが生まれたと、心から感謝する。今年は高体連、高野連の垣根を越え、メダルやカップを授与し盛り上げた。来年以降の大会は、県が学校単位でポイント化し、総合優勝を決め表彰することにした。そうすると、それぞれの大会に戻っても、県がスポーツを支えられる。

今年は、教育長と意見交換し、ポイント制を工夫した。連覇ポイント、成長ポイント、逆転ポイント、全国進出するとその競技自体のポイントが上がる。部員数が増えたところは加点。小規模校がポイントを獲得した場合は割り増しをするなど。

今年のSSP杯を、勝手に学校対抗戦にしたので発表する。6位、龍谷高校、5位、佐賀工業高校、4位、佐賀清和高校。3位、佐賀北高校、2位、敬徳高校、第1回の優勝は、佐賀商業高校。

佐賀商業は男女とも高得点だった。特に、サッカーの劇的な優勝で70ポイント入った。敬徳高校は、野球が延長戦のすえ準優勝だった。そのあたりのポイント差で、順位が違ったかもしれない。

男子総合優勝は、佐賀工業高校。女子の総合優勝は、佐賀清和高校。

来年は、リアルタイムでポイントを示し、モチベーションが上がればよいと思う。また、駅伝を入れるなど種目も含め検討したい。

9月に各学校を訪問し表彰する。今後も、スポーツを盛り上げていきたい。

高校生の皆さん、多くの感動をありがとうございました。

### ● 「サガスカウト」の参加者を募集中！ ～子どもたちに向いているスポーツを科学で発見～

スポーツの力を生かした人づくりに取り組む「サガスカウト」の参加者を募集。県は、国スポ、全障スポに向け、スポーツを盛り上げようとしている。

何のスポーツを始めるかは、周りの影響が大きい。そこで、自分に向いているスポーツは何かを科学で発見するイベントを企画した。募集をかけたところ、すぐに定員に達した。回数を増やし、できるだけ参加できるように、追加募集する準備中。

小学生や中学生に、立ち幅跳びやボール投げなど8つの簡単なテストをしてもらう。「体格」「パワー」「敏捷性」「器用さ」の4大要素を分析。さらに、年齢、身長、体重などを加え、AIが分析し、向いているスポーツを提案。やりたいスポーツなら、頑張るポイントを教えてくれる。

サガスカウトのシステムを使って、新たな自分を見つける機会にしてほしい。佐賀の小学生、中学生、奮って参加を。

- 「漁協の山」計画を進めます!

「森川海人っプロジェクト」の 1 つ。これは、森と川と海を人の力によってつなげ、自然を大切にしようというプロジェクト。山に暮らす人たち、海や川で営む人たちが、海の清掃や山に植林をして、互いに交流する活動。参加者も年々増えている。佐賀県はクリークが多いので、川の活動が盛んなのかもしれない。森と海も含めてどんどん増やしたい。

これまで「チーム森川海人っ」の共感企業が 60 団体。「森川海人っプロダクト」は、佐賀西高の「さかのき堀」、「原木しいたけ」など 6 製品を登録。

今回は、漁協の皆さんが山づくりに取り組んでいただく。非常にありがたい。ノリ生産者は「山の栄養分が川に流れ、海に運んでくれるからこそ、おいしいノリが取れる」と口癖のように言ってくれる。その源である山を大切にすることに共感いただいた。

有明海漁協と佐賀県で山づくり協定を締結し、漁協の山をつくっていく。場所は 21 世紀県民の森。令和 3 年から植林、令和 4 年～15 年度まで下刈りと手入れをしていきたい。

子どもたちが漁協の山で、間伐材を利用して木エづくりや植林などさまざまな体験ができる。

森はいっぱいあるので、ほかの企業も歓迎する。ぜひ名乗り出てください。

豊かな「森・川・海」を人が未来へつなぐ、「森川海人っプロジェクト」を前進させたい。

- 「ロマンシング佐賀 2020」第 4 弾企画発表!

第 1 弾は、ゴールデンウィークにゲーム内イベント、佐賀県フィールドが登場。1 億 5000 万回プレイされた。第 2 弾は、6 月につばざむらいとつばにゃんがゲーム内に登場。第 3 弾は、7 月から 8 月にかけて佐賀支え愛コラボ開始。ワラスボなど県産品を使い、ロマ佐賀ミュージック総選挙に活用された。

第 4 弾は、ロマ佐賀が佐賀のインフラに。株式会社スクウェアエニックスのサガチームから、ロマンシング佐賀マンホール寄贈の提案があり、お受けした。全部で 7 種類。今回は、1 枚を先行公開する。残りの 6 枚は、スクエニ社で発表。

マンホールは、人気キャラクターのポルカと、バルーンなど佐賀県を代表するものがコラボレーショ

ンしている。サガシリーズのマンホールは日本初。ドットキャラクターのマンホールは世界初。

ポルカは佐賀駅南口に設置。残りの6か所は、唐人まちかど広場、白山名店街入口、呉服元町、わいわい!!コンテナ2、バルーンミュージアム前、佐賀城本丸歴史館。

図柄は後日発表。10月下旬に、佐賀駅から県庁に向けて、7つのロマン佐賀のマンホールをお披露目できる。佐賀県の滞在ポイントになればと期待する。

このマンホールは、日之出水道機器株式会社 佐賀工場で製造。県内で製作していただいた。

- 医師定着のため「SAGA Doctor-S プロジェクト」に取り組んでいます

若手医師の層が薄い。医師定着のためのプロジェクト。

佐賀大学医学部の女性比率は、全国で1、2を争うが、いかに佐賀県に残ってもらうか。我々が取り組むべき3つのS、「SAGA Doctor-S プロジェクト」を展開したい。

1. Spirit(スピリット)。佐賀県で学び・働き・活躍する「志」と「誇り」を!

佐賀県は、東大医学部発祥の元。医師免許をつくり、最初に天然痘の種痘を打ったなど、医学のあけぼのの土地。志を育てていく。

2. Support(サポート)。医師を育てるオール佐賀のサポート体制を!

医師の「学ぶ・働く・暮らす」をサポートできる体制も完備する。

3. Satisfaction(サティスファクション)。働きやすく・働きがいのある医療機関へ!

みんなが働きたいと思うような環境改善を推進。

3つのSで、Settlement(セトルメント)という定着を図っていく。

・「働きやすい医療機関づくり」に向けてキックオフ!

「働きやすい病院つくろうフォーラム」を開催。9月4日の4時半から、裴英洙(はい・えいしゅ)さんをお招きし討論する。参加者は病院長、子育て経験のある女性医師など。ウェブ視聴もできる。佐賀県の働きやすい病院づくりについて盛り上げていきたい。

・「医療の途を目指す若者の「志」を醸成!

自治医科大学・佐賀大学医学部の医学科合同進学説明会を開催。

医学部進学を検討している受験生と保護者に医学の世界を紹介し、佐賀県の医者を意識してもらう。医”志”を未来につなぐために「オール佐賀」で頑張っていきたい。

- 新型コロナウイルス感染症の感染懸念から受診をためらっている方へ～健康リスクからあなたや家族を守るために～

新型コロナ感染の懸念から、受診をためらっている人がいる。受診控えて症状が悪化することがある。気になる症状がある場合、早めの受診を。

また、予防接種は適切な時期に接種して効果がでる。コロナを恐れるあまり、時期をはずして、予防できる病気にかかることになる。

がん検診（健診）で、がんが見つかった人の8割は早期発見。私も助かった一人。定期的な検診が重要。コロナウイルスが不安でも、がん検診に行ってほしい。

医療機関は、感染防止対策に努めているので、院内感染も起きていない。県もその取組をこれからも支援する。感染防止対策に努め、適切なタイミングで診療、予防接種、がん検診を受けて、自分や家族の大切な命を守ってほしい。

- 国勢調査 2020 はじまります！

国勢調査は、開始からちょうど100年。佐賀県の人口は、私が生まれた昭和40年に87万2000人だった。当時、滋賀県と奈良県は佐賀より少なかったが、今や140万人ほどに。佐賀県は、下がり止まりの状況で、推計人口では山梨県を抜いた。

国勢調査は、議員数の根拠になったり、行政施策の基礎資料としても重要。また、教育、民間など、広範囲の分野でも利用する。県の財政からも実態を把握することは大事。

大隈重信侯は統計に関心が高く、「統計伯」とも呼ばれていた。「国勢」という言葉を用いて統計の重要性を訴え、初代統計院長にも就任。豆知識として知っていただきたい。

ぜひ県民の皆さん方に統計調査にご協力をお願いします。

調査期日は10月1日現在。調査事項は、世帯員について15項目、世帯について4項目。

調査員が各世帯を訪問して調査書類を配布。インターネットの回答期間もできる。ネット回答ができる人は利用してほしい。ネット回答できない人は、郵送か調査員に手渡しを。

with コロナ時代の国勢調査。調査員は、できる限りインターホン越しで行う。対面での説明の場合は、マスク着用や距離を保つなどを徹底する。インターネットの回答に必要なIDやアクセスキーは、調査員が配布する調査書類に記載されている。

・「いまを知るその積み重ねが未来を創ります!」

詐欺、不審な調査にご注意ください。

新型コロナウイルス禍だが、チーム佐賀、オール佐賀で乗り越えたい。